

# 日本鐵鋼協會記事

## ◎理事會

大正十年十月十九日(水曜日)午後五時より本會事務所に於て理事會を開く會議事項左の如し。

一、大日本鐵業協會雜誌と交換の件(可決)

一、入退會者に關する件(可決)

一、大島道太郎君の葬儀に關する件

右に就ては葬儀の際生花一對並に弔詞を贈ることに議決せり。

一、其他會務に關する件

當日出席者は左の諸氏なり。

香村 小録君 今泉 嘉一郎君 鹽田 泰介君

河村 驍君

## ◎編輯會

大正十年十月十九日午後五時より本會事務所に於て編輯會を開き會誌第七年第拾壹號の原稿を選定せり、當日出席者は左の諸氏なり。

室井 嘉治馬君 杉村 伊兵衛君 落合 畝三郎君

## ◎入退會者

前記理事會に於て入會並に退會を承認せられたる會員左の如し。

## 退會者 (住所及職業)

大阪砲兵工廠

正員 大阪検査部職員

相州浦賀町浦賀船渠會社  
神奈川縣川崎町在日本鋼管會社  
鳥取縣米子町米子製鋼所  
京橋區明石町十一、燕洋行  
東京砲兵工廠

## 入會者 (住所及職業)

仙臺市米ヶ袋鹿ノ子清水二一、東北大學教授  
長崎市三菱長崎造船所  
南滿洲鞍山製鐵所研究部  
吳市吳海軍工廠廣支廠航空機部

同 大木治吉  
同 古賀貞六  
准員 櫻 久之助  
同 清水藤三郎  
同 小田廉平

正員 本多光太郎  
准員 牛本高次  
同 福井 眞  
同 澤守源重郎

本會准會員末吉東四郎君は大正十年十月死亡せらる  
誠に哀悼の至りなり。

## ◎倭博士よりの短信

時下益々御多祥の御事と奉存候私事無事旅行仕候間乍憚御休神被下度候九月二十日倫敦に到着仕候十月一日倫敦發瑞典に向ひ申候、十月末には獨逸に入り當分同國に滞在の豫定に御座候英國は未だ見學不致候へ共米國に於ては二ヶ月間所々視察仕多少の見聞を得候に付貴協會に御報告をなさんと存候へ共閑暇無之今に御無音致居候何れ入獨の上は米國と瑞典とを比較して申上度と存候間不惡御赦被下度候

兎に角御承知の通り目下大不況殊に米國は五百基の高爐の内僅に五十基のみ稼行中とか申候英國も火の消えたる如き有様に有之候歐大陸は相當に盛なる由人の申所に御座候時下御自愛專一に奉存候野呂先生初め今泉氏外御一同に宜敷御傳被下度候 敬具

大正十年十月一日

於倫敦 倭 國 一